

学校経営推進費 評価報告書（1年目）

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	産業財産権の取得並びに資格取得者数の増加
計画名	「創造性教育のための技術向上」プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の中期的目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的・基本的な学力と技能力を定着させる学習指導の推進。 2 生徒一人ひとりの能力を伸ばす教育の推進。 3 基本的な生活習慣の育成と規範意識の醸成。 4 地域と連携した広報活動の充実と開かれた学校づくり。
事業目標	<p>産業財産権取得並びに資格取得者数の増加のため、以下の4点を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業財産権の取得に取組み、自身の力量や他者の力量を図り、更なる向上をめざす人材を育成する。 2 各種の国家資格や検定試験に向けた指導体制を確立する。 3 ものづくり実習の中で、一定レベルの加工技術など、コンテストに必要な技術を習得させる。 4 各種コンテストに出場し、常に優勝を狙えるレベルになるよう育成を図る。
整備した設備・物品	3Dプリンタ用樹脂、オシロスコープ、シグナルジェネレータ、低周波発振機、周波数カウンタ、直流安定化電源、電圧計、電流計、寸法測定器具（ノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージ）、軟鋼鋼材、切削用刃物、アルミ角材・L型材、溶接棒、防塵マスク、スペクトルアナライザー
取組みの主体・実施者	<p>取組みの主体：創造性教育のための技術向上プロジェクトチーム</p> <p>取組みの実施者：産業創造系教員5名、機械系教員2名、電気系教員2名</p>
本年度の取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ①第二種電気工事士および第一種電気工事士の受験指導 VVF3芯およびVVF2芯を使用して、講習回数を増やした。 ②CNC旋盤を用いた技能検定3級機械検査作業測定材料の製作 & 1年生工業技術基礎測定実習での実践 寸法測定器具（ノギス、マイクロメータ・ダイヤルゲージ）、軟鋼鋼材、切削用刃物、アルミ角材、L型材を使用して、機械加工における測定の重要性理解のために、測定材料の製作および測定実習内容の立案のために使用した。 ③アーク溶接JIS評価試験（A-2F）資格取得 & 溶接コンクールに向けての実践 溶接棒、防塵マスクを使用して、安全面・衛生面強化し、練習量を増やした。 3Dプリンターを用いたものづくり：3Dプリンタ用樹脂を使用して、試作物を多数製作できた。 2 本校主催「夏休み自由研究フェア（於：いこらモール）」での浴衣ファッションショー開催 産業教育フェア「ファッションショー」で参加、毎日・DAS学生デザイン賞（高校生の部）参加。 3 ①マイコンカーラリー・エコデンレース・エネワングランプリ鈴鹿2015参加 電気計測機器各種を使い、電気系統の最適化を図った。 産業創造系で、製品開発実習での新設実習「計測実習」および「測定実習」の実習書の作成。 各種電気計測機器およびデータロガー（電子計測器）の使用方法を産業創造系全職員の研修として本年度は使用。
成果の検証方法と評価指標	<ol style="list-style-type: none"> 1 創造性教育の中での造形物について、実用新案権取得に向けた検証。 2 第二種電気工事士（合格率65%）、旋盤技能士（60%）、ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育講習等受検。 3 地域産業連携型校として、連携を行う（20件程度）。 4 エコデンカーラリー・マイコンカーレースへの参加し、入賞をめざす。 5 ガソリン車から電気自動車に改造した自動車を製作する。
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 毎日・DAS学生デザイン賞（高校生の部）コンクールでは、応募総数300点の中から「ファッション&テキスタイル部門」で部門賞1点、佳作1点、入選2点の合計4点の作品が受賞。（◎） 2 ①電気工事士 第二種および第一種電気工事士の受験指導 ・第二種電気工事士76名合格、合格率81%（◎）・第一種電気工事士27名合格、合格率47%（全国13位・大阪府1位）（◎） ②旋盤技能士（CNC旋盤を用いた技能検定3級機械検査作業測定材料の製作 & 1年生工業技術基礎測定実習での実践） ・1種類の測定材料を15程度製作し、測定材料をプログラム化することができた（○）・測定実習を構築できた（◎） ・旋盤技能士3級合格率86%（◎） ③ガス溶接技能講習・アーク溶接特別教育講習等受検（アーク溶接技術向上の為の実践教育） ・防塵マスク等の物品が整ったことで、安全面・衛生面が強化できた。また、練習量を増加させることが可能となり、アーク溶接JIS評価試験（A-2F）資格取得に今年度合格することができた。（◎） ・ガス・アーク溶接合格率90%（◎） ④溶接コンクールに入賞すること ・優秀賞4名 優良賞5名という結果であった。練習通りの力が発揮できず悔いの残る結果であった。（△） ⑤3Dプリンターを用いたものづくり ・3Dプリンターを用いてティッシュケース、ハンコづくり等多くの製作品を作ることができた。また、擬似的な射出成型用金型を製作しシリコンを流し込み、プレートを製作することができた。（○） 3 ①地域イベント本校主催「夏休み自由研究フェア（いこらモール）」で、夏休み子ども工作教室（ミニチュアだんじりねじロボットなど）、浴衣ファッションショー開催。（○） ②産業教育フェア「ファッションショー」に参加。（○） ③泉佐野駅前イルミネーションイベントへ生徒作品参加。（○） ④りんくうタウン駅舎1階にて生徒作品展開催。（日本繊維教育研究会会員校へ案内状郵送）（○） 4 ①マイコンカーラリー全国大会出場（予選15位）（○） ②エコデンレース 総合10位 全国自動車教育研究会会長賞受賞、豊橋大会では、充電電池部門3位入賞、岐阜大会では4位入賞。（○） 5 前年度製作した電気自動車に不具合が発生し、これに対応する調整・再加工等の作業を実施した。これにより新たな製作はできなかった。（△）
次年度に向けて	<ol style="list-style-type: none"> 1 高校生ものづくりコンテスト、パテントコンテスト、毎日・DAS学生デザイン賞（高校生の部）コンクールなどに積極的に参加する。また、知的財産権の取得を視野に入れた取組みを行う。 2 資格取得に向けては、次年度の目標を大幅に達成したので、今年度の状況を維持、またはさらなるレベルアップを図りたい。また、資格取得に連動した実習については、資格に対する意識付けから取得へと進めて行きたい。 3 地域イベント本校主催「夏休み自由研究フェア（いこらモール）」で、夏休み子ども工作教室、浴衣ファッションショー開催、産業教育フェア「ファッションショー」で参加など、地域イベント参加を積極的に行うことにより、生徒に自己表現の場を提供できるようにする。 4 マイコンカーラリー、エコデンレース、エネワングランプリ等に参加し、さらに上位入賞をめざす。